

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名 児童デイサービス ほーぷふる

公表日 令和7年2月27日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境 ・ 制 ・ 整 ・ 運 ・ 備 ・ 営 ・ 体	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	1	1	・教材は学校で使用している物をそのまま使用する場面が多く、独自の教材を準備する必要性が無かった	・今後必要性に応じて対応できるよう、準備していきたいと思います
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2			
業務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		・今期が初の自己評価	・今期は初めての自己評価となるため、意見や以降をしっかりと把握し、改善に努めていきたい
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2	・どういう時に第三者委員会が評価するのかわからない ・感染症や個人情報との兼ね合いもあり実施していない	・今後必要性に応じて検討していきたい
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		2	・集団生活における子どもの課題に関する資料を活用したり、本児や保護者様の意向から「どうしたら課題行動が改善できるか？」を常に話し合い子どもに応じてその日の優先順位や目標を決めて支援してます	・保育所等訪問支援に関する研修が少なく参加することができていない ・教育や学校に関する資料や、現役の先生方へ助言を仰ぐ等、常に学びを深めていけるよう努めたい
	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2			

## 適切な支援の提供

9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2		
10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2	・制度の認知度が低い ・学校や担任の先生と目的のすり合わせが難しい	・先生方の多くが制度を知らない方が多く、「学校生活において支援員が全面的に対象児童の世話をする」と誤解される方が多い
11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	・訪問支援員は、常に支援計画を念頭に置き、学校の状況や都合に合わせて柔軟な支援の実施に努めている	
12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	・フォーマルアセスメントはフェイスシートやアセスメントシートを活用し、インフォーマルアセスメントは訪問支援員に夜報告事項をミーティングで共有し確認している	
13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	1	・5領域とガイドラインのねらいが合致するような支援計画を立てるよう努めています	
14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	・訪問支援員のみが把握している状況もあったため、今後はデイのスタッフへも共有できるよう努めていきたい	
15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	・訪問支援員、管理者（児発管）にて当日の支援内容について検討、共有している	・学校での様子についてデイスタッフも共有できるよう努めていきたい
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	・訪問支援員、管理者（児発管）にて当日の支援内容について検討、共有している	・学校での様子についてデイスタッフも共有できるよう努めていきたい
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2	・必ず実施している	

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2		・必ず実施している	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2		・相談支援員との情報共有の際は訪問支援員、児発管ともに参画し、学校の会議には児発管が参画している	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2		・実績なし・体制あり ・必要に応じて実施していきたい	・体制は整えているものの、まだまだ認知度が薄い制度であり相談支援専門員をはじめ学校や地域の公的窓口も制度を知らない方がほとんどである
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2		・実績なし・該当者なし ・機会があれば積極的に参加し、学びを深めていきたい	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2		・「保育所等訪問支援」に関する研修自体が少ない ・機会があれば積極的に参加し、学びを深めていきたい	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2		・案内があれば参加するように努めている	・保護者様対応や、学校、児相との面談等のため欠席することもあるが、積極的に参加するよう努めたい
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2		・必ず、デイの様子や学校での様子等を報告している。共通理解できるよう努めている	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2		・発達障害に関する研修は多く、研修の案内について情報提供しているが、「保育所等訪問支援」に関する研修や学校生活における課題に関する研修はほとんどない	・保護者様は今まで多くの研修に参加されてながら、実際に学校生活に介入することができずに困っている方がほとんどであるため、保護者様の疑問や不安を緩和し、自宅が子どもにとって一番安心できる居場所としての関わりをお願いしています
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2		・契約時に説明を実施している	

保護者等への説明等

28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2	・まだまだ認知度が薄い制度であり、学校の先生方のほとんどが「知らない」と話すことが多く、何度も繰り返し説明し「保育所等訪問支援の手引き」について案内している	・学校によって違いは大きく、好意的に協力いただく学校があったり 逆に、本児に係る先生全てに同じ説明をしなければならなかったり、同じ先生へ何度も同じ質問をされる事もあり、支援中に駐車場や記録物の確認等、何度も呼び出す先生も見えるのが現状です
29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	・保護者様だけではなく、必ず本児の意向を反映させ、目標を意識付けできるような計画書の作成に努めております	
30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2		
31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2	・必要に応じ実施しているため定期的ではないが、その都度保護者様や本児が安心、納得するまで対応するよう心掛	
32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2		・今現在、感染症の兼ね合いから需要が無いため、開催せず。今後意見や要望があれば積極的に検討していきたい
33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	・迅速、目つ適切に対応対応できる体制を整え、ミーティングにおいて職員へも周知している	
34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	・SNSを活用し、デイの活動の様子や学校での様子等を連絡している	
35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2	個々に応じた理解力に合わせた合理的配慮を意識している	

訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつでも対応できる体制を整えている</li> <li>・必ず実施し記録に残している</li> </ul>	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・必ず実施し記録に残している</li> </ul>	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・必ず実施し記録に残している</li> </ul>	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉や療育の観点から助言をするも教育職や持論が強く難しいケースもあったが、困っている子どもたちのためにも良好な関係を保てるようにしていきたい</li> </ul>	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・デイ共有</li> </ul>	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・デイ共有</li> </ul>	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例なし</li> <li>・事例が無いため検討なし、今後該当する事例が起きた際に共有し検討していきたい</li> <li>・ヒヤリハットを予防するためにミーティングにおいて注意喚起を実施している</li> </ul>	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・デイ共有</li> </ul>	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・デイ共有</li> </ul>	